

A hand is shown holding a small toy truck with the TREX logo on its side, positioned over a small globe of the Earth. The truck is white with blue and red accents.

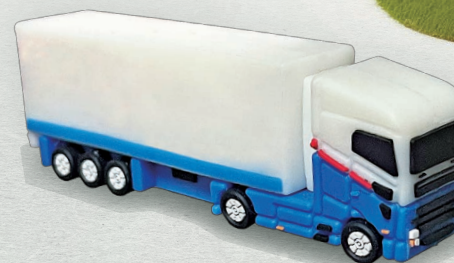
CSR REPORT

CSR報告書
2024

日本トレクス株式会社

contents

- 01 **トップメッセージ / top message**
- 02-04 **会社情報 / company profile**
- 05-07 **トピックス2023 / topics 2023**
- 08-09 **経営とCSR / management & CSR**
- 10 **ガバナンスの取り組み / governance effort**
- 11-13 **お客様と、お取引先様とともに / customer & business partners**
- 14-19 **従業員とともに / with employees**
- 20-21 **安全衛生の推進 / health and safety**
- 22-26 **環境への取り組み / environment**
- 27-28 **地域社会とともに / community involvement**



持続可能な社会への貢献と責任

終わりの見えない世界各地での紛争や、原材料の高騰、そしていよいよ後がなくなった「物流の2024年問題」など、当社を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

このような状況のなかで、輸送用機器メーカーである私たちに求められるものは、物流の効率化とそれを持続させる製品やサービスの提供を行うことであり、ステークホルダーの皆様にご貢献することだと考えています。

環境に配慮した、生産体制の構築

稼働を開始した新工場では、大容量蓄電池を採用し、ピーク時の電源使用量を抑えて電力消費の平準化に取り組んでいます。また、再生可能エネルギーの活用にも重点を置き、太陽光パネルを設置して環境負荷の低減も図っています。

環境に配慮した製造業を目指す取り組みとして、積極的に環境対策に取り組んでおり、今後も持続可能な社会の実現に向けて、企業活動を進めていきます。

物流2024年問題への対応

物流の担い手不足が深刻化しているこの問題においては、物流の効率化や持続可能性に主眼を置き、中継輸送や荷役分離、モーダルシフトなどを最大限活用できる製品やサービスの提供を積極的に行っています。

- セミトレーラの運用の提案
- ダブル連結トラックやスワップボデーの提案
- TQO(トレクスクイックオーダー)の提案による納期短縮の実現
- トレクスドライビングスクール開校による、ダブル連結トラックやトレーラ導入に向けたサポート
- トレーラ導入の際に必要な行政手続きのバックアップ(行政書士事務所連携)

安全性と品質向上

私たち輸送用機器メーカーは、お客様に対して「安心・安全」な製品をお届けすることが第一の使命だと考えています。現在、当社グループ内においてテクニカルセンターの建設を進めており、テストコースなどの施設を用いて品質検査や各種テストを行い、

さらなる品質向上に努めていきます。

ステークホルダーの皆様の信頼にお応えできる

製品づくりに全力を注いでいきます。

日本トレクス株式会社
代表取締役社長

高崎文弘



会社概要

日本トレクス株式会社 (NIPPON TREX CO., LTD.)

所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田350
設立 1964年(昭和39年)8月1日
資本金 20億1,100万円
株主 極東開発工業株式会社
売上高 479億円(2024年3月期)
事業内容 トレーラ、タンク、ウイングボデー、バンボデー、バンキット、コンテナ、シェルタ、各種部品などの輸送用機器の製造販売、整備および修理



本社事業所

敷地面積 125,000㎡ / 建物面積 66,148㎡



音羽事業所

敷地面積 21,000㎡ / 建物面積 13,300㎡



御津事業所

敷地面積 36,300㎡ / 建物面積 10,600㎡

販売拠点 と サービス拠点

販売拠点

17カ所

北日本営業部

- ① 北海道支店
- ② 東北支店

東日本営業部

- ③ 関越支店
- ④ 新潟営業所
- ⑤ 千葉支店

首都圏営業部

- ⑥ 東京支店
- ⑦ 横浜支店

中部営業部

- ⑧ 静岡支店
- ⑨ 名古屋支店
- ⑩ 富山営業所

近畿営業部

- ⑪ 関西支店
- ⑫ 岡山支店

西日本営業部

- ⑬ 広島支店
- ⑭ 九州支店
- ⑮ 南九州支店

特装営業部

- ⑯ 特装営業部

営業本部

- ⑰ 直納課



サービス拠点

7カ所

- A トレクスサービスセンター北海道
- B トレクスサービスセンター中部
- C トレクスサービスセンター九州(北九州)
- D トレクスサービスセンター九州(広島)
- E 東部ロードサービス課(仙台)
- F 東部ロードサービス課(東京)
- G 関西ロードサービス課(大阪)

サービス工場

全国 340社

トレクスの歴史・沿革

創業以来、輸送用機器メーカーとして、時代とともに変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を目標として活動してまいりました。

日本トレクスの半世紀にわたる歴史をご紹介します。



1964

日本トレールモービル(株)設立



1965

バンセミトレーラ試作
第1号車が完成



1966

アルミ製ドライコンテナの
国産第1号を生産



1978

海上コンテナ年間生産台数
過去最高の1万1,052台を記録



1987

ウイングボデーを生産開始



1992

ウイング車1万台達成



1992

音羽事業所が操業開始



1996

社名を「日本トレクス」へ変更

1964

1996



2003

スワップボデーを生産開始



2007

極東開発工業(株)が
当社発行済全株を取得



2014

創立50周年記念式典開催



2017

次世代断熱パネル
(PANECT)発売開始



2019

愛知ブランド企業に認定



2019

ダブル連結トラックを発売開始



2019

御津事業所が操業開始



2024

スワップ冷凍バンボデー
「グッドデザイン・ベスト100および
新ビジネスデザイン賞を受賞」

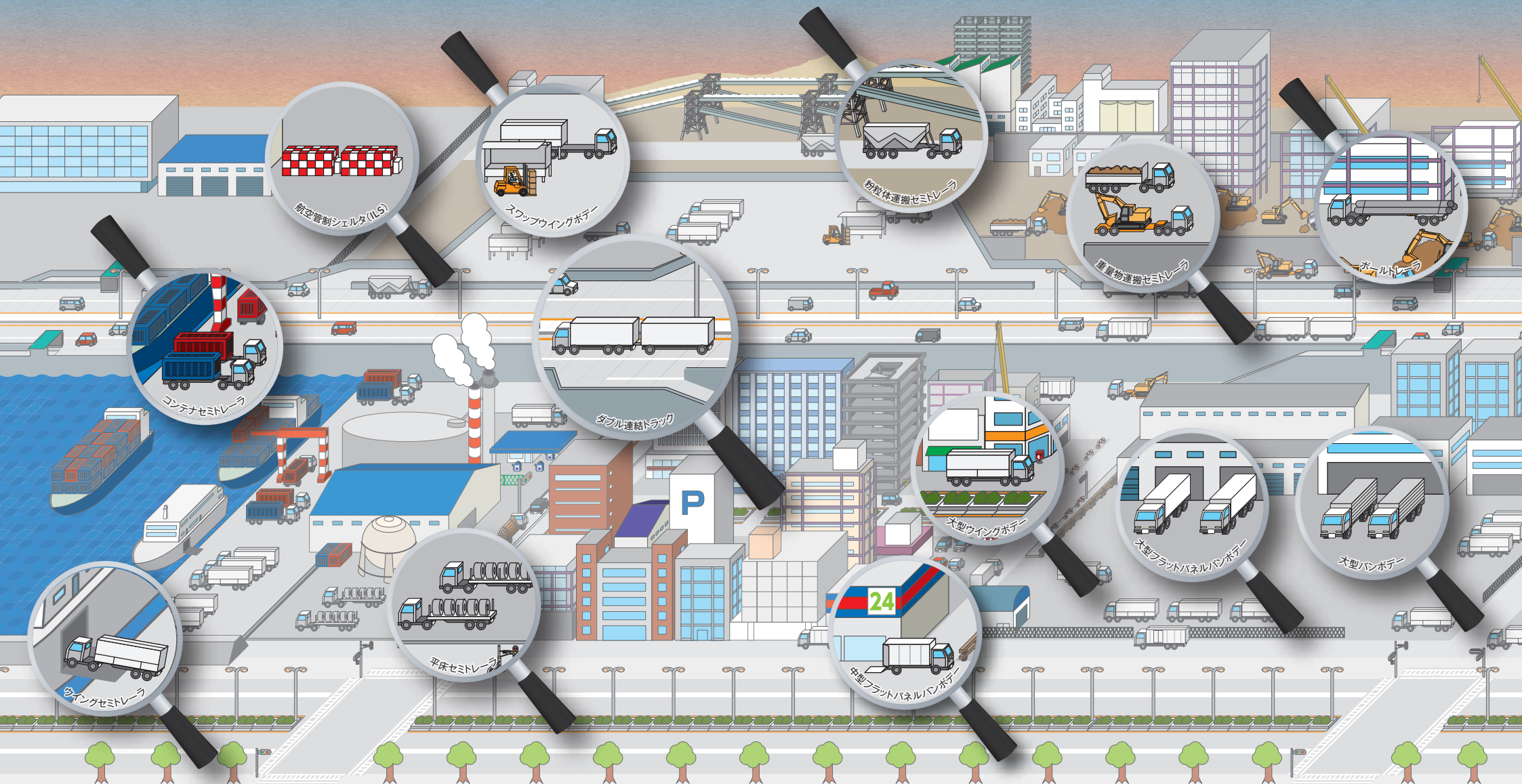
2003

2024

主要製品

街を見渡せば、そこにトレクス。

私たちの製品は、日々あらゆる場面で皆様の暮らしを支えています。



日本トレクス レポート2023

新工場(E工場)建築工事 竣工式を開催

2023年12月



2022年12月に建設開始した新工場が2023年12月に竣工を迎えました。新工場はトレーラのシャシ溶接から塗装まで一貫して行うことができる新鋭工場です。ライン構成の見直しと、ロボットによる塗装自動化を柱に、従来より高品質の製品を生産することが可能となりました。また、太陽光発電システムをE工場天井全面に設置し、CO₂排出削減にも貢献しています。



ジャパンモビリティショー2023出展

2023年10月～11月



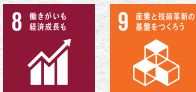
2023年10月から11月にかけて、東京ビッグサイトにて「ジャパンモビリティショー2023」が開催され、「スワップ冷凍フラットパネルバンボデー」を展示しました。この展示では、2024年問題の課題解決に向けたスワップボデーと冷凍バントラックの新たな提案が紹介されました。展示は日本自動車車体工業会の「働くくるま合同展示エリア」にて行われ、お子様からご年配の方、さらには業界関係者まで幅広い来場者にご覧いただくことができました。



日本トレクス レポート2023

スワップボデーがデンソーSLOC実証実験に参画

2023年7月

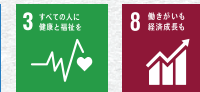


SLOC(Shuttle Line Of Communication)とは、幹線輸送におけるスワップボデーとQRコードを用いた管理システムのことで、複数の荷主や運送事業者が輸送に関わる新しい輸送形態です。7月12日～13日に株式会社デンソー主体で実証実験見学会が行われ、荷主企業や運送事業者7社合同での実証実験が行われました。見学会では新たに開発した「スワップ冷凍フラットパネルバンボデー」も展示し、招待客である大手運送事業者や国土交通省・経済産業省担当者にお披露目し、多くのご意見をいただくことができました。2024年問題の解決に向けて、スワップボデーやダブル連結トラックの周知・拡販を通して社会課題の解決を図ってまいります。



あいっこ家庭教育応援企業に登録

2023年9月



本制度は、愛知県の企業・事務所で働く保護者が安心して仕事に励むことができるよう、愛知県教育委員会と連携して家庭教育の一層の推進を目指す制度です。愛知県豊川市に事業所を持つ当社も、働き方改革の推進や従業員の健康と能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進しており、本制度が目指す保護者が子育てしやすい職場づくりと、子供が健やかに育つ環境づくりに賛同し、この度登録企業として参加しました。今後も従業員が仕事と子育てを両立させることができる職場づくりに取り組んでまいります。



日本トレクス レポート2023

京商オリジナルシリーズに日本トレクスの製品が仲間入り

2023年11月



スケールモデルやラジオコントロールモデルなどのホビー業界の老舗企業であり、「KYOSHO」のブランド名で展開されている京商株式会社から、「重機運搬用セミトレーラ1/43ダイキャストモデル」が商品化されました。広く製品のPRを行うと同時に、文化・教育の分野にも貢献を行ってまいります。



第1回 日本トレクスOB・OG会 開催

2023年6月



当社としては初となるOB・OG会をホテルアークリッシュ豊橋で開催し、71名のOBの方々にご出席いただきました。この会は、OB・OGメンバー相互の親睦と当社への継続的支援を目的としており、毎年1回の実施を計画しています。



CSRに対する基本的な考え方

当社は、長年にわたり培ってきた技術と信頼を軸に、お客様やお取引先様などをはじめとしたステークホルダーの皆様とともに、世の中の発展に向けて、新たな価値を創造してまいります。
2013年にCSRポリシーとして「日本トレクスビジネス行動規範」を制定し、これをベースにステークホルダーの皆様とともにスパイラルアップしながら、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

企業理念

**お客様の信頼に応える
最高の輸送機器とサービスを提供することにより
物流の発展を推進し 社会へ豊かさと夢を広げる**

ビジネス行動規範(抜粋)

企業が効率や利益を追求し競争を行うこと自体は、正常な企業活動です。

しかし、利益の追求、競争が高すぎるあまり、企業活動が社会的正義に反するものになってはなりません。

日本トレクスの企業活動は、

お客様やお取引先様をはじめ、株主、地域社会などの数多くの人々との関係の中で成り立っており、

健全な企業活動を通じて、これらの人々の期待に応える責任があります。

日本トレクスは、企業としての社会的役割、責任を自覚し、社会とともに成長し発展し続けます。

日本トレクスとSDGs

2015年9月に国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を受け、当社もSDGsに貢献する取り組みを推進しています。

具体的には、2018年度に実施したCSR活動項目の刷新時にSDGsの関連付けを開始。

SDGsの達成に向け、社会の一員としての役割と責任を果たすために、積極的に取り組んでまいります。

重要課題

社会課題の解決につながる当社グループの取り組みを、バリューチェーンに沿って特定しました。

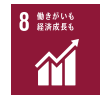
事業を通じてこれらに重点的に取り組むことで、

SDGsの達成と持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

SDGsの
目標達成に向けて
正の影響を強化
することができる
取り組み



ステークホルダーエンゲージメントは
全工程において実施



働きがいのある職場づくり



ダイバーシティ経営



技術教育・伝承



エコ設計(エコな製品づくり)



物流製品の製造販売

原材料 サプライヤー 調達・物流

操業

販売

製品の使用

製品の破棄

SDGsの
目標達成に向けて
負の影響を抑制
することができる
取り組み



CSR調達



安全な職場づくり



省エネ活動
業務効率の改善



製品講習会の開催
(適切な使用法の指導)
アフターサービスの充実



製品のリサイクル

ガバナンスの取り組み

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は持続的な発展による企業価値の向上こそが経営上の最重要課題であると位置づけております。

そのためには経営の健全性を確保し、全社に法令遵守を徹底し、企業の社会的責任を果たすことが必要であると考えております。

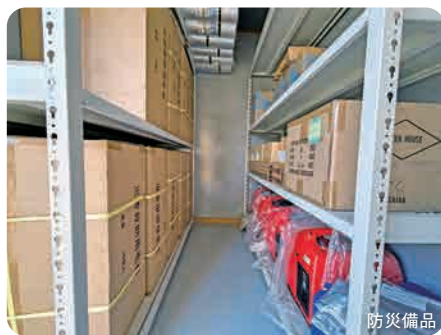
また、今日のように社会環境が激しく変化し続けるなかで、これに迅速に対応する効率的な経営体制を構築し、さらに向上させるべく努めてまいります。

コンプライアンス

法令や社内のルールなど、コンプライアンスに沿った行動を従業員が取れるよう、従業員が守るべきルールを『日本トレクスビジネス行動規範』に定めるとともに、全従業員を対象にした社内ネットワーク上での『コンプライアンス教育』を実施しています。また、コンプライアンスに関する相談や不正行為等の通報のために外部機関に担当者を置いた『コンプライアンス・ホットライン』を設置し、通報者の保護を徹底した内部通報制度を運用しています。

事業継続(BCP)

当社は大規模地震など不測の事態が発生した場合の対策として「地震防災関連規定」を制定し、そのうえで人命の安全確保が最優先と考え、従業員やその家族の安否が携帯電話でいち早く確認できるシステム(オクレンジャー)を導入しています。また、各事業所や営業所では、万が一の事態に備えて防災備蓄品を常備し、復旧に向けた対応ができるよう対策しています。



防災備品



備蓄食料品



防災のしおり

情報セキュリティへの取り組み

当社は情報資産を適切に管理・保護するとともにサイバー攻撃等の脅威に対応すべく情報セキュリティに関する各種規定を策定し、これに基づくセキュリティ対策に取り組んでいます。また、情報セキュリティに関する意識向上と技術レベル向上のため、従業員に対して継続的に教育を行い、その遵守の徹底を図っています。

情報セキュリティ教育

テーマ	実施日
ランサムウェア攻撃に警戒! 気づいたら即切断を!!	2023年11月

反社会的勢力に対する対応

当社は社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切関係を持たず断固として対決します。反社会的勢力および団体からの接触を受けた際には、警察・弁護士など外部機関との連携を図るとともに、経営トップをはじめとして全社一丸となって組織的に対応を行います。

品質保証

品質保証体制

当社では、お客様の信頼に応え、満足される商品とサービスを提供し続けるため、社長をトップとした品質保証体制を構築しています。「品質向上会議」や「品質確認会」を定期的に開催し、使用時におけるリスクの低減を図るとともに、より良い製品づくりに向けて改善活動を継続して行っています。また、製作の技術向上のため社内にて、実技指導を交えた講習会を実施しております。



品質向上会議



品質確認会

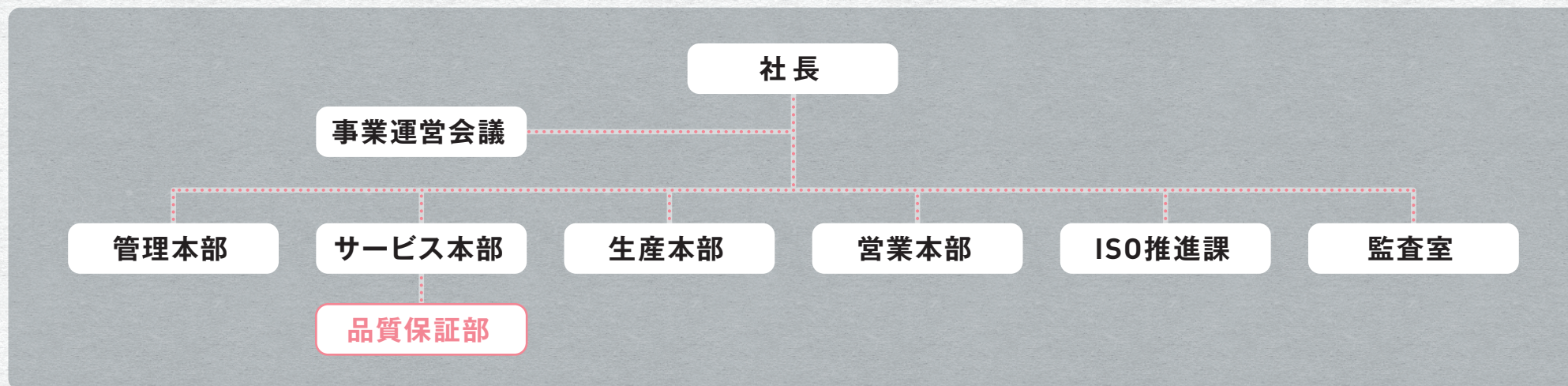
品質マネジメントシステムの運用

日本トレクスでは全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001(2015年度版)の認証を取得しています。各事業所では「改善計画策定」「改善実行」「達成状況の評価」「次の改善への反映」のPDCAサイクルを徹底し、製品安全の確保、品質の確保、継続的品質の改善に努めるとともに、品質マネジメントシステムの有効性監査を2000年度から継続して実施しています。

情報開示

当社製品におけるリコール・改善対策・サービスキャンペーンといった市場改修に関しては、速やかに所轄官庁に報告する体制を整えています。それとあわせて、できるだけ早期にお客様にその情報が伝わるようにホームページやダイレクトメールでお知らせを行っています。なお、リコール等の情報については、当社ホームページでもご覧いただけます。

届出日	件名	対象機種
2023年9月29日	ドリー付バントレーラ(電気式ステアリングシステムのプログラム)に関する市場改修	トレーラ
2023年11月21日	粉粒体運搬セミトレーラ(サブフレーム)に関する市場改修	トレーラ
2024年1月23日	ウイング車(油圧シリンダー)に関する市場改修	トラック トレーラ
2024年3月19日	スワップボディコンテナキャリア(リヤコンピランプ取付ブラケット)に関する市場改修	トラック



サービス品質向上に向けた取り組み

当社では、サービス品質向上の一環として、製品が本来もっている性能をフルに発揮し、長期間にわたり当社製品を安全に安心してご使用いただけるよう、技術的な知識や整備に関するノウハウについて講習会を開催しております。

2023年度は「お客様向け講習会」39回、「サービス工場向け講習会」23回、「意見交換会」5回と計67回の講習会を行いました。

今後も全国のサービス網と連携しながら、継続したアフターサービスを提供することで、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。

お客様向け
講習会

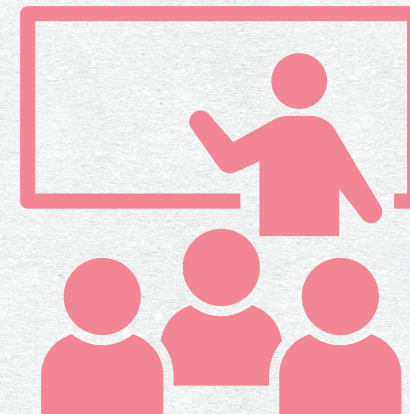
39回

サービス工場
向け講習会

23回

意見交換会

5回



お客様向け講習会の開催

ディーラー整備担当者およびユーザー整備担当者に対し、「車軸・エアサスペンション・ブレーキ・ウイングボデー」の整備方法について、より理解を深めてもらうため、トレーニングセンターを設けて講習会を開催しています。トレーニングセンターでの講習会以外にも、トレーニング機材をお客様のもとへお届けしての出張講習も実施しています。



安全講習会の開催

ドライバー・運行管理者向けの講習会で、「始業前点検・定期交換部品・構造説明」に重点を置き講習を行うことで、安全運行に関する知識を深めていただきます。



運転講習会の開催

トレーラを新規導入されるお客様を対象として、操作方法や注意事項を習得していただくことにより、トレーラの運転に対する理解を深めていただきます。



トレーラ新車点検制度

新車登録後、1か月の時点で、異常がないかを確認させていただくための点検です。トレクスのトレーラは全車『1か月新車点検サービス』を行っており、安心してお使いいただけるよう、エア漏れやナットの緩みなど、30項目以上にのぼる点検を無料で実施しています。

CSR調達

日本トレクスは企業理念の実現のため、高品質で環境に優しくコストパフォーマンスに優れた部品や原材料、設備の調達を目指しています。

そのためには、お取引先様と当社が対等な立場で相互に信頼し、共存共栄できる関係をつくることが重要だと考えています。

また、環境方針を資材調達活動の基本的な考え方の一つとしてとらえ、これらを基に「調達方針」を制定し、お取引先様に対してご協力をお願いしています。

品質と安全性の
確保

お取引先様との
公平・公正な選定

納期の遵守

調達方針

お取引先様との交流

中長期的な経営戦略や生産・販売・調達に関する方針をお取引先様と共有するため、毎年「総会」および「賀詞交歓会」を開催しています。

また、お取引先様で構成される「協力会」とも連携し、定期的に情報を交換しています。



グリーン調達

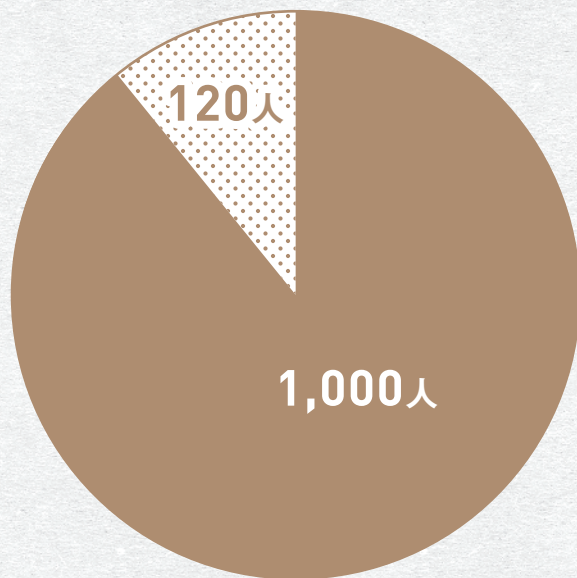
地球環境・地域環境に配慮した製品を社会に提供するため、環境に配慮した活動を行うお取引先様から、環境負荷がより少ない物品を調達するよう努めています。

雇用状況

日本トレクスでは、1,120人の従業員が働いています。[2024年3月末時点]

従業員数

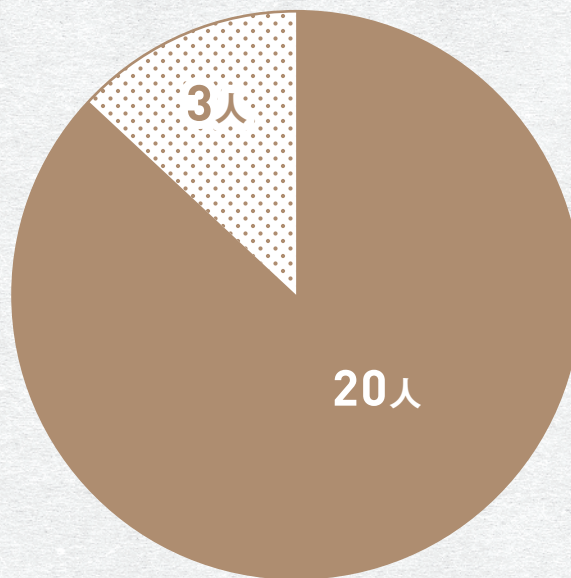
1,120人



■ 男性 ■ 女性

新卒採用者数

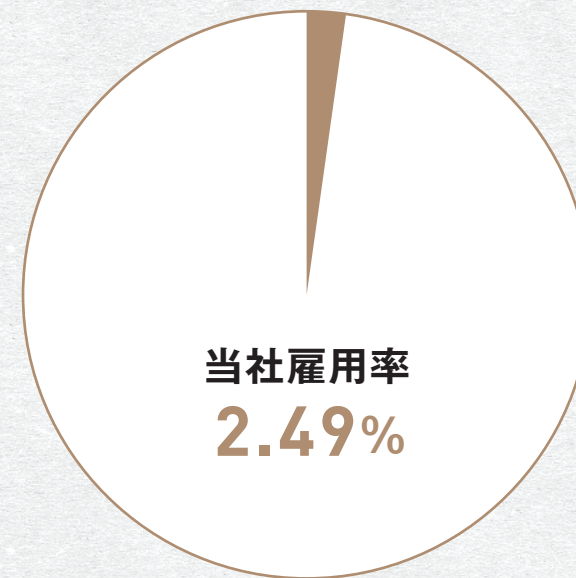
23人



■ 男性 ■ 女性

障がい者雇用人数

22人



※正社員・契約社員・パートの合計人数
 ※出向者は出向先を含む
 ※管理者含む

育児・介護に向けた支援

従業員が安心して育児や介護に専念できるよう、短時間勤務や時間差勤務制度など、労働時間に関する制度のほか、産前産後の通院に配慮した制度や復職に際しての制度を設けるなど、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた体制づくりを進めています。

育休取得者のコメント ①育休を取得したご本人の感想・思い ②ご家族からの感想・コメント



育休取得者数

24人



人事部 人事課 A・Hさん

- ① 第1子の出産で育休を取得し、子育ての大変さも楽しさも十分に味わうことができました。保育園に入れなかったため、2歳直前まで育休を取らせていただきましたが、毎日変わる表情や成長を見逃すことなくずっと一緒に過ごすことができたので嬉しかったです。
- ② 妻が育休を取得したことで親子の関係が深まりました。特に子どもが泣いたり、笑ったりする瞬間を一緒に過ごせたことは、2人にとって貴重な時間でした。私としても妻が育休を取得してくれたことで安心して仕事に専念できました。



生産管理部 製品発送課 S・Kさん

- ① 第3子ということもあり、上の子供の面倒も見ながら妻の産後の負担を減らせればと思い、妻の退院後、約2か月取得しました。実際に育休を取得してみて、育児や家事で大変でしたが、家族で過ごすことができ、とても良かったと思います。
- ② 第3子出産の際に約2か月育休を取得してもらい、上の子達の保育園送迎、日々の買い出し、家事全般などをお任せしました。家族全員で過ごす時間を持つことができ、有意義な期間でした。



品質保証部 品質保証課 M・Oさん

- ① 子供が2人になり、家事と育児の両立に苦労することも多かったです。子供たちの可愛さに癒されながら成長の機会を共に過ごすことができました。異動後の復帰に不安がありつつも周囲の支えのおかげでスムーズに復帰することができ、日々の業務も頑張れています。
- ② 妻が育児休暇を取ってくれたおかげで、いつも通り安心して仕事に行くことができました。妻には感謝しています。

人材育成

従業員の成長と役割自覚、やりがい、働きがいを形成する人事制度や研修、表彰制度などを運用しています。



人事制度

従業員自身が関わった業績への自己評価やキャリア形成の意向、異動の希望などを申告する機会を定期的に設け、従業員一人ひとりが自身に求められる期待や役割を自発的に果たせる人材に成長できるよう、人事制度を運用しています。また当社では「より仕事を通じた価値創造のできる人材育成」を進めることを目的とした人事制度を運用しています。



能力開発制度

勤務年数や役職に合わせて職務に必要なスキルを身につける「階層別研修」と、職業人生における今後のキャリア形成を支援する「キャリア研修」を実施し、年間を通じて従業員自らが能力開発していく基盤づくりをサポートしています。



従業員表彰制度

〈改善実施賞制度〉では、品質・安全の向上、原価の低減など、従業員の創意工夫による改善実施の結果を適正に評価し、優秀な改善事例については、年2回開催される発表会で紹介され、従業員同士で認識を共有しています。また〈安全表彰制度〉では、安全意識を高揚し、労働災害の減少を図るため、他の規範と認められた職場を表彰し、自主的な安全衛生の推進を促進しています。



自己啓発通信教育奨励制度

語学・資格取得対策・専門技術・特殊技能などさまざまな分野の通信教育約250講座の中から、各自が自由に選択して受講することができる制度です。修了状況に応じて通信教育受講料を最大全額奨励金として支給し、従業員の自発的なスキル向上を促進しています。



技能講習会・技能検定

製品の品質向上と技能伝承を目的に、従業員を対象とした各種業務に必要な技術の講習会や検定を実施しています。

- 玉掛け技能講習
- プレス作業主任者技能講習
- ガス溶接技能講習
- 木材加工用機械作業主任者技能講習
- 高所作業車技能講習
- クレーン特別教育 他
- フォークリフト技能講習



善行賞表彰制度

職務に精励し、顕著な功績があった者および社会的に善行があったと認められる者をたたえることで、その功労に報いるとともに従業員の勤務意欲の高揚と業務能率の推進を図ることを目的として表彰を行っています。

- 不具合を未然に発見し、功労があったもの 3件
- 特殊詐欺を未然に防ぎ、功労があったもの 1件



改善事例発表会



新入社員研修



クレーン特別教育



アーク溶接特別教育



墜落制止器具安全教育



善行賞

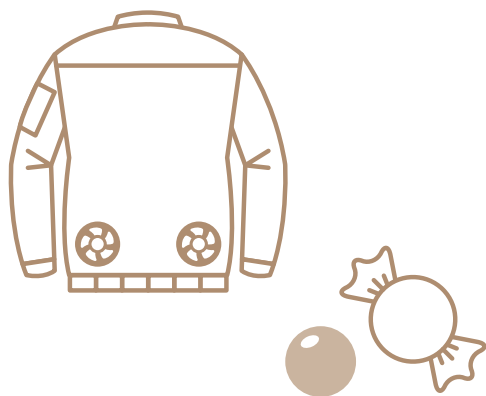
より良い職場環境へ

職場環境改善

安心して働ける職場環境づくりには、従業員の安全・健康に対する配慮の徹底が不可欠と考え、健康維持・増進に向けたさまざまな施策を実施しています。

熱中症対策

夏場の熱中症対策として、水分・塩分補給のためのスポーツドリンク、塩飴の配布を行うとともに、空調服の貸与を行っています。また、職場環境の改善として、工場屋根の断熱化を順次進めるとともに、スポットクーラー等の設備導入も推進しています。



AED(自動体外式除細動器)の設置

本社事業所に4台、音羽事業所に2台、御津事業所に2台、御津車両センターに1台常備しています。必要時に迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、各職場ごとに救急救命講習修了者を配置し、来社されたお客様や従業員、地域の皆様の万一の事態に備えています。

レクリエーション

コミュニケーションの取りやすい風通しの良い職場づくりに向けて、社内レクリエーションや各種クラブ活動に積極的に取り組んでいます。



トレクスサイクリングクラブ



トレクスランニングクラブ

健康経営への取り組み

日本トレクスでは、従業員が心身ともに健康であることを第一とし、会社・労働組合・従業員が一体となり、健康経営への取り組みを進めています。

お客様に満足していただける製品づくりも、従業員一人ひとりの力がないと成り立ちません。

従業員の健康と個人の能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進するため、「健康経営宣言」を制定しています。

健康経営優良法人認定

2020年度より継続して健康経営優良法人に認定されています。

今後とも各種取り組みを推進し、

健康経営のさらなる推進・発展に取り組んでまいります。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

カラダの健康

健康をサポートするために、朝のラジオ体操や定期的な体力測定を実施しています。

また、健康保険組合と協同し、各種セミナーやウォーキングキャンペーンを開催しています。



ラジオ体操



体力測定

がん対策推進企業アクション 推進パートナー登録

国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」

推進パートナーへ登録(2023年2月~)

人間ドックやがん検診を推進し、安心して働くことができる職場環境を整備



禁煙の取り組み

2023年10月より敷地内全面禁煙としました。

現状、社員の喫煙率が高いことを受けて、喫煙率低下を目標に、従業員の禁煙をサポートするべく、健康保険組合と共同で禁煙支援を行っております。

とよかわ健幸マイレージ(企業チャレンジ)参加

豊川市の企画に参加し、従業員の健康づくりを応援。

健康経営への取り組み

ココロの健康

ストレスチェックや面談を行い、メンタルヘルスが損なわれることのないような職場づくりを進めています。万が一、従業員がメンタルヘル스에不調をきたした場合は、専門機関と提携して医療職との面談を重ねながら、職場復帰のためのフォローを行っています。また、管理者・従業員に対し、専門の講師を招いて「ハラスメント研修」を開催し、誰もが働きやすい職場づくりに向けた啓蒙を進めています。

- 高ストレス者への産業医面談実施
- カウンセリングサービス(外部相談窓口)設置
- こころのサポートホットライン設置

休暇の制定

〈アニバーサリー休暇〉では定期的に心身ともにリフレッシュを図ることを支援するため、6日間/年をアニバーサリー休暇として従業員各自が設定、計画的に年次有給休暇を取得しています。

〈永年勤続制度〉では勤続10年ごとに従業員に感謝の意を表し、連続5日間の休暇を付与する制度を導入しています。

末長く働くことができる環境整備のために

病気や怪我によって会社を休むことになった場合でも、生活の心配をすることなく療養に専念できる環境を整えること、早期の就労復帰を支援することを目的に、GLTD制度(傷病による長期療養時の給与補償制度)を導入しております。

※GLTD : Group Long Term Disabilityの頭文字をとったもので、長期間仕事ができない状態という意味。

健康食堂への取り組み

従業員の食生活改善は、健康経営において重要な取り組みのひとつです。従業員の健康な身体づくりをサポートするため、夏バテ防止をテーマにしたメニュー、動脈硬化や糖尿病の予防をテーマにしたメニューなど、毎月テーマごとに管理栄養士考案メニューを提供。旬の食材を通して健康について意識できるように工夫しています。



安全衛生に向けた取り組み

当社では、従業員の安全と健康の確保が企業存続の基盤を成すものと認識し、安全衛生管理規定に基づいて、さまざまな安全運動に取り組んでいます。

安全衛生委員会の開催

毎月1回、それぞれの職場で発生した事故やケガの状況、安全に関する取り組み事例の紹介など、安全衛生に関する情報交換や問題解決に向けた話し合いを行っています。



安全衛生委員会の様子

安全巡視(パトロール)の実施

メンバーが作業エリアを分担してパトロールを実施し、不安全な作業の廃止や、不安全な状況の改善に向けて、見回り活動を行っています。



安全巡視の様子

安全体感教育の実施

災害を疑似体感できる装置を用いた「安全体感教育」を協賛会社を含め全従業員に実施しています。今年度よりVR(バーチャルリアリティ)体感装置を導入し、よりリアルな安全教育を実施することで、危険に対する感受性を高めています。



安全体感教育の様子

VR体感教育の様子

防災訓練・AED講習

各事業所ごとに「自衛消防隊組織」を編成するとともに、いざという時に従業員自らが安全行動を取れるよう、大規模地震を想定した訓練を行っています。また、防災訓練時や入社した従業員に対しAED講習会を行い緊急事態の場合に対応できるようにしています。



消火訓練の様子



担架搬送訓練の様子

安全祈願の実施

本社事業所内に建立された明神社では、毎月第1営業日に、社長、役員および管理監督者による安全祈願が執り行われ、安全意識の高揚が図られています。



安全祈願の様子

職場改善活動の実施

外部コンサルタントを講師に迎え、業務遂行に必要なスキルを実践を通して身に付けることを目的に、グループ毎に問題点を抽出し、共有・改善を進めることで職場環境を整えています。



OJT中間報告会



モデル職場

営業活動での安全対策

事故や災害は工場に限ったことではありません。当社では、日々の営業活動においてより安全で、かつ安心して移動できるよう、社有車にドライブレコーダーを設置しております。また、運行の前後にアルコール検知器を使用し、飲酒の有無を確認しています。



ドライブレコーダー

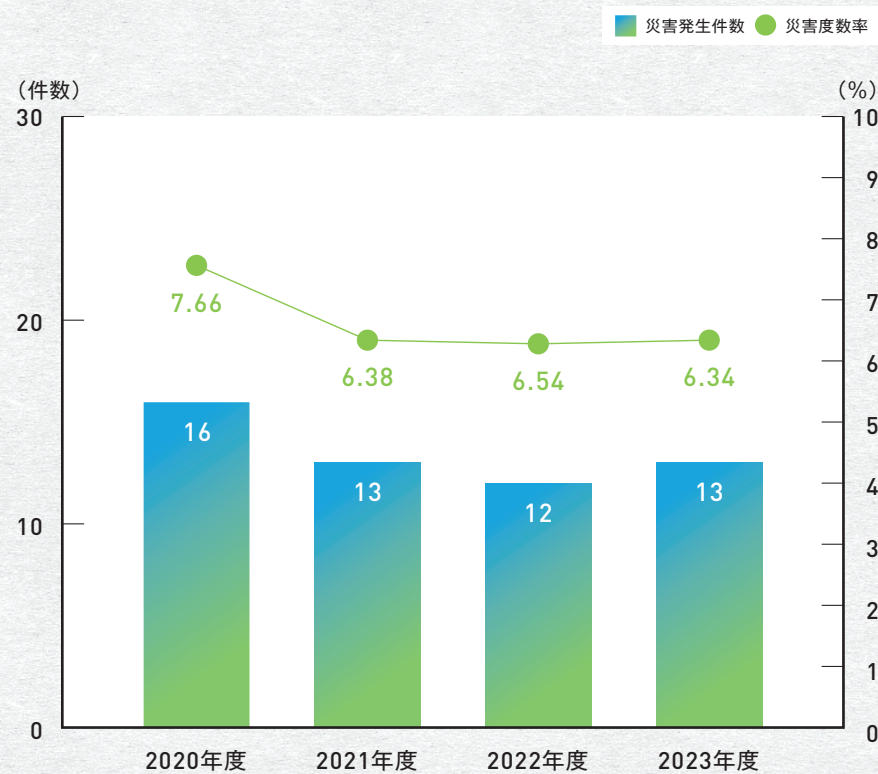


アルコール検知器

安全成績

労働災害発生件数の削減に取り組んでおりますが、2022年度は12件、2023年度は13件発生しました。2024年度はあらためて「労働災害ゼロ」を目標に、従業員の健康管理を含めた労災防止に努めてまいります。

災害発生件数と災害度数率の推移



基本姿勢

当社は生産に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点で自然から多大なる恩恵を受けて事業活動を行っています。
これを念頭に、地球環境をより良い状態で次の世代へ引き継ぐための活動を、あらゆる事業の場面で自主的かつ積極的に行っています。
私たち人類にとって、地球環境はかけがえのないものです。当社は、環境を守ることが企業の責務であり、経営の重要課題であると考えています。

1

環境問題に
積極的に取り組み
循環型社会を
追求する

2

地球環境の
保全に役立つ
技術開発を
指向する

3

公害防止、
省エネルギーに
配慮する

4

製品の
再資源化に
注力する

5

良好な環境の
維持向上に努める

ISO14001への対応

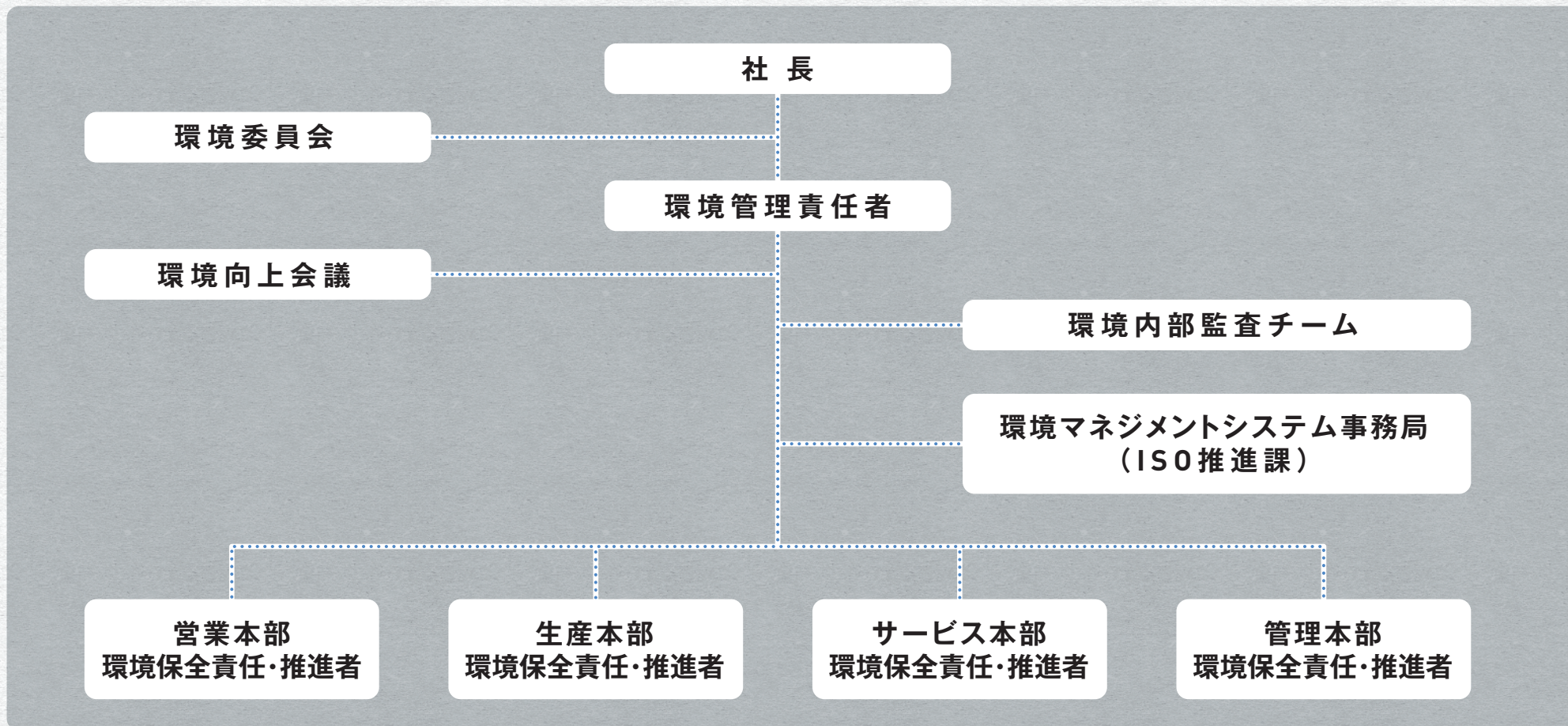
環境保全活動を組織的に運営していくため、本社事業所、音羽事業所、御津事業所の3つの全事業所において、ISO14001の認証を取得しています。



推進体制

社長を環境最高責任者とする推進体制を構築しています。

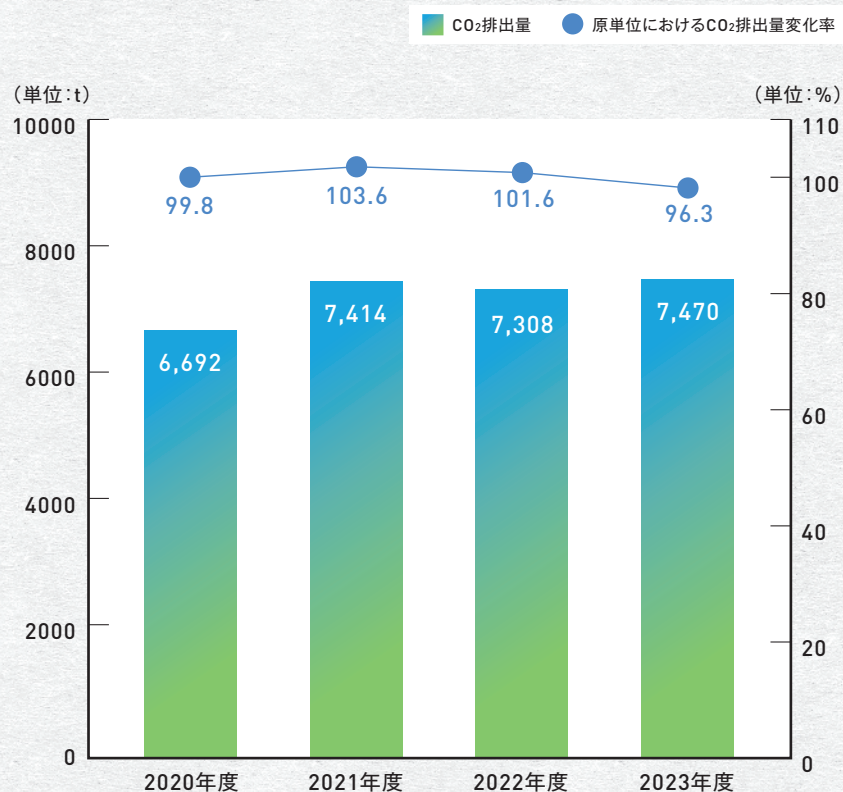
また、対象部署では各部長を環境保全責任者、各課長を環境保全推進者とし、部署ごとに1名以上の推進担当者を配置して活動の底上げを図っています。



脱炭素社会に向けて

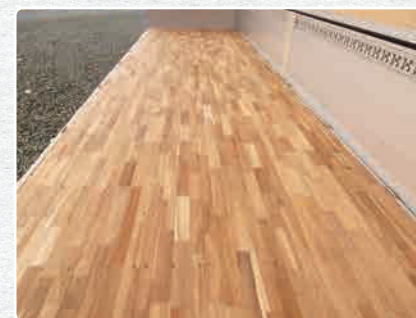
施設内照明のLED化、省エネ機器の導入、社用車への次世代車両導入、太陽光発電の実施など、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後は生産工程を含めた業務効率の改善に重点的に取り組み、事業活動全体での脱炭素化を目指します。

エネルギー使用による二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



自社植林のアカシア材を製品に使用

当社では、2004年5月よりマレーシア・サバ州で植林事業を開始しました。そして、2020年より成長したアカシア材を製材し、トレーラやトラックの床材として製品に使用しております。伐採した後は、挿し木苗による再植林をし再びアカシアを育て森を再生しています。これからも日本トレクスでは、持続可能な事業活動を行ってまいります。



環境リスクを減らすために

定期的な排水の水質調査

当社は、環境マネジメントシステムを運用するにあたり、法令順守を大前提に管理を行っています。定期的に排水・騒音・粉塵などを測定管理し、違反につながる事例については、早急に改善を行い、再発防止に努めています。



水質調査の様子

近隣住民の生活環境の保全

春と秋の年2回、事業所周辺にお住まいの方々へ騒音・粉塵・臭いなどでご意見がないか聞き取り調査を行い、地域住民の皆様との良好な関係を築くべく改善活動に役立てています。

車両プールの集約化

遠方に複数借りていた車両プールを集約することで、事業所間の回送距離が大幅に減少し、CO₂削減につながりました。



御津1区プール

省エネルギー活動

モーダルシフト

完成品の陸送を行うにあたり、フェリー輸送を積極的に活用することで、エネルギー消費効率の向上およびCO₂削減に努めています。



自然エネルギーの有効活用

音羽事業所の屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用と環境負荷の低減に努めています。



音羽事業所屋上の太陽光発電パネル

照明LED化

各事業所では順次照明のLED化を進めています。より明るい光を少量の電力で供給することが可能です。



本社A工場のLED化

SOCフリー化に向けた取り組み

当社では、『欧州廃車指令(ELV指令:End of Life Vehicle)』、業界団体である一般社団法人 日本自動車車体工業会の『環境負荷物質自主取り組み基準』および、お客様からの要求を踏まえ、2005年よりSOC(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)フリー化に取り組んでまいりました。結果として、トラック系に続いてトレーラ系においても、2010年度末に自主基準を達成しました。今後はエビデンスの徹底管理によるSOCフリー化の維持とともに、製品に対するお客様からの新たな化学物質管理の要求に適切に対応していくため、生産本部長をトップとする管理体制を敷き、化学物質の管理強化に取り組んでまいります。

溶接ヒューム規制対応について

溶接ヒューム(溶接のアーク火花によって蒸発した金属)にさらされることによる健康被害防止措置の取り組みの一環として、粉じん発生量により作業場ごとに電動ファン付呼吸用保護具、取替式防じんマスク、使い捨て防じんマスクの使い分けを行うとともに、職場に正しいマスクの使用方法を掲示するなど、従業員が安心して作業に取り組めるよう環境作りを行っています。



電動ファン付き呼吸用保護具



マスクフィットテストの実施

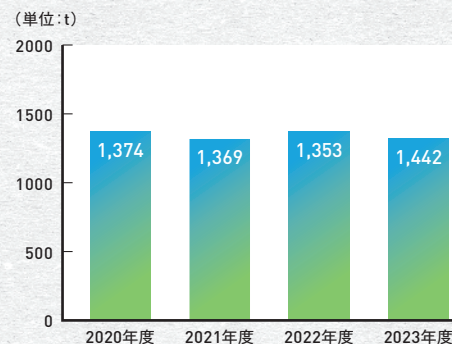


啓蒙ポスターを職場へ掲示

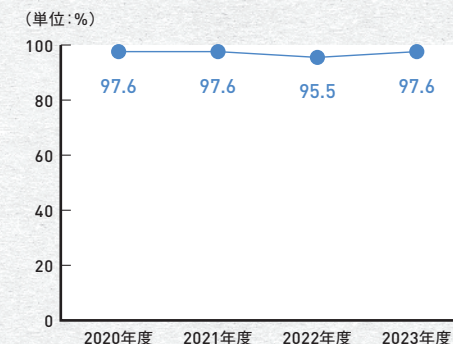
循環型社会に向けて

限りある資源を大切に利用するためにも、また廃棄物による地球環境への負担を減らすためにも廃棄物削減は重要です。当社では事業活動で発生する廃棄物削減とリサイクル向上に努めており、90%以上のリサイクル率を実現しています。今後はプラスチックゴミなどの廃棄物の総量削減に向けた取り組みを進めてまいります。

総廃棄物量の推移



リサイクル率の推移

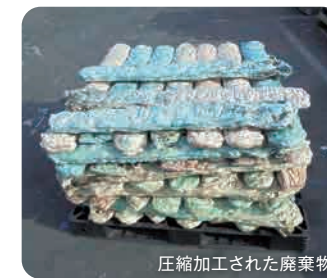


産業廃棄物処理費用低減

スチレンやプラスチック・ビニールを社内で圧縮加工することで、処理費用の低減を行っています。



作業の様子



圧縮加工された廃棄物

明神祭の実施



11月の第1土曜日に明神祭を実施し、従業員やその家族、近隣の住民の方々を招待し地域との交流、地域への社会貢献の機会となっています。2020年から新型コロナウイルス感染症の流行により明神祭は中止となっていましたが、2023年より再開しました。

会社見学の受け入れ



当社のことをもっと知っていただくため、お客様から要望があれば会社見学の受け入れを行っています。会社見学では事業内容や従業員の仕事内容を紹介するとともに、生産ラインなどを公開して当社への理解を深めていただきます。

職場体験学習生の受け入れ



就職後に実践的な能力を発揮できるよう、在学中に「学外実務訓練」をカリキュラムに取り入れる学校が増えています。当社もその要請に応えるべく、就業体験をしてもらうことで、就業意識の形成、キャリアプランの構築など、将来の就業に活かすことができるよう支援しています。

コンビニ経営



ローソン日本トレス店



オリジナルグッズ販売コーナー

本社事業所の敷地を利用してコンビニエンスストアを運営しています。一般のお客様にも広くご利用いただくことで、従業員の福利厚生としてだけでなく、暮らしやすい街づくりにも貢献しています。

工場周辺清掃活動



清掃活動の様子

きれいな街づくりは安全・安心の第一歩という考えのもと、工場周辺道路を中心に、定期的に清掃活動を実施しています。活動の結果、環境保全の意識が高まり、年々ゴミの量は減少しています。今後も継続した活動を実施することで、環境活動の保全に努めてまいります。

使用済み切手回収プロジェクトへの参加



回収BOX

使用済み切手 回収実績

第8・9・10回 (3/25~12/5) 回収分 **2,349g**

団体へ発送しました。
ご協力ありがとうございました！



認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)



社内活動報告

社会貢献への取り組みの一環として、当社で収集した使用済み切手を、NPO法人『世界の子どもにワクチンを日本委員会』へ寄付させていただきました。使用済み切手は、切手収集家の方々への販売により換金され、アジアやアフリカの保健医療協力のため、役立てられます。

編集方針

本報告書では持続可能な社会の実現に向けた、日本トレクスの取り組みを今後の計画とともに報告しています。

報告範囲・対象期間

対象組織 日本トレクス株式会社を中心にグループの活動を報告しています。

対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日

(一部記事には2024年4月以降の内容を掲載しています。)

対象読者 日本トレクスに関わる全てのステークホルダーの皆さま

発行日 2025年3月